

平成 31 年 1 月 31 日
西部農林振興センター益田事務所農業普及部

標 題	益田メロン部会、平成 30 年度通常総会開催！ ～安全安心な生産に向けて意識統一～
-----	--

(ダイジェスト)

1 月 16 日、益田メロン部会は通常総会を開催し、昨年産の共励会表彰の後、本年度の活動計画について確認しました。活動計画では、より安全安心なメロン生産を目指し、栽培記録台帳の記帳と提出の徹底など、すぐにできることやリスクの高いところから取り組もうと意識統一が図られました。また、役員改選が行われ、より若い世代が産地を牽引していくこととなりました。

平成 30 年産は残念ながら目標としていた販売額 3 億 1700 万円にわずかに届きませんでした。約 3 億 1600 万円と 4 年連続で 3 億円を突破しました。冬場の低温や夏場の高温など厳しい気象条件の中、目標に近い実績になったことは生産者の高い技術の結果だと思われまます。

しかし、20 年前（平成 10 年産）と比べて、産地の状況は厳しく、部会員からも「若い者が意欲を出すような策が必要」という意見が出されるなど、危機感の高まりが見られるようになってきました。

項目	部会員	栽培面積	出荷数量	販売金額
平成 30 年実績	71 名	19.6ha	619t	316 百万円
対平成 10 年比	50.4%	50.8%	57.9%	72%

ここ数年、部会では『基本は土づくり・安全・安心なメロン生産で信頼ある産地づくり』をスローガンに活動を行っていますが、本年度の活動計画に初めて「生産工程管理」の言葉が掲げられ、GAP の取り組みが具体的に始まることになりました。

普及部としても新たな役員体制のもと、安心安全なメロン生産を推進すべく、GAP の普及に向けて指導支援を行うとともに、今後の産地を見据えたビジョンづくりを加速していくことにしています。



《会場の様子》



《表彰を受けた生産者》